

製品名: PIDD1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82274**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	99.7kDa

抗原情報

遺伝子名	PIDD1
別名	LRDD; PIDD
遺伝子 ID	55367.0
SwissProt ID	Q9HB75
免疫原	大腸菌で発現したヒト PIDD1 (AA: 776-910) の精製された組み換え断片。

背景

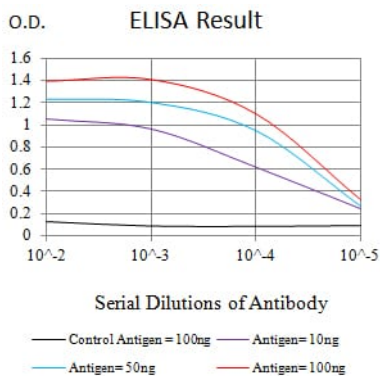
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ロイシンリッチリピートとデスドメインを含む。このタンパク質は、Fas (TNFRSF6) 関連デスドメイン (FADD) や MAP キナーゼ活性化デスドメイン含有タンパク質 (MADD) などの他のデスド

メインタンパク質と相互作用することが示されており、細胞死関連シグナル伝達過程におけるアダプタータンパク質として機能する可能性がある。この遺伝子のマウス対応遺伝子の発現は、腫瘍抑制因子 p53 によって正に制御され、DNA 損傷に反応して細胞アポトーシスを誘導することが明らかになっており、この遺伝子が p53 依存性アポトーシスのエフェクターとしての役割を示唆している。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2010 年 8 月]

研究分野

アポトーシス

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)